

第 62 回 JALSG 運営委員会議事録

- 1.開催日時：平成 26 年 6 月 21 日(土)16:30~17:00
- 2.開催場所：東京慈恵会医科大学 1 号館 3 階講堂
- 3.出席者：101+委任状 19

4.議事の経過及び結果

1) 平成 25 年度 JALSG 会計報告

- ・検査費用の増加等、NPO - JALSG の会計報告も同時に行われた。

2) 幹事会報告

- ・JALSG 代表、副代表、監査役、幹事が 2015 年 3 月 31 日任期満了となるため、幹事候補者指名委員会を以下の様に組織する（敬称略）。
代表（直江）、副代表（宮崎）、常設委員会委員長（大竹、小林）、
プロトコール委員長経験者（麻生、薄井）、
登録数の多い施設（親+関連病院の症例数）（名古屋大学：清井、横浜市大：山崎）
運営委員会からの自他薦 2 名募集（複数の場合は施設症例登録数で）
- ・NPO-JALSG への厚生労働省がん臨床試験基盤整備事業補助金の件
2000 万円申請中。
CLEC 試験のモニタリング費用を計上。
CRF データ入力支援料は減額する。
- ・他の臨床研究グループとの共同研究について（過去のデータ利用）
対応する組織設置を検討。
著者規程を決める。
データ利用申請書作成等、日血総会までに決定する。
- ・CRC 業務の委託について
ノイエスと研究事務局業務についての契約を行った。
CRC 請負業務を行う関連会社（クリニカルポーター）の利用の紹介があり、一部施設で試行する事となった。
- ・JALSG 幹事について、H25 年より COI 開示を始める。
- ・CML212 の登録期間が 1 年延長された。

3) 常設委員会、疾患別委員会報告

・施設審査・監査委員会

新潟大学の関連病院 3 施設、神戸市立医療センター他 2 親施設の入会があった。
新加入の施設の IRB 申請が少ない傾向があるので、IRB 申請や症例登録がゼロの施設の班会議旅費支給の可否について検討する。

・プロトコール審査委員会

委員長に薄井紀子先生が就任される事が承認された。
現在 2 つのコンセプト審査中、リバイスは早くお願いしたい。

・再発・難治性 AML213 委員会

プロトコール審査委員会委員長に薄井先生が就任された事に伴い、再発・難治性 AML213 委員長に福井大学・山内高弘先生、副委員長に千葉大学・中世古知昭先生を推薦。

→ 承認された。

- APL212 委員会より、安達美和先生（浜松医科大学）が委員に加わる事が提案され、承認された。
- ALL213 委員会副委員長への八田善弘先生の就任が承認された。

4) 各種 project の提案および申請方法について

- APL205R の共同研究（カリフォルニア大学）の為のデータ提供が承認された。（柳田先生）
- APL205R 以降 R のプロトコールがない為、木口先生（中国中央病院）を中心に APL215R を立ち上げる。（竹下先生）

→ 承認された。木口先生より挨拶メールで委員を募集する事となった。

5) 論文執筆状況・学会発表について

- 宮村先生 CML207 データ入力の依頼。
- 藤田浩之先生 感染症と支持療法について、ARSA フォーラム、日血ランチョンで発表。
- 竹下先生 APL92,97 及び APL204 の表面マーカー、DS、年齢因子、付加的染色体異常等について APL 委員で解析し ASH を目標に発表。
- 伊藤良和先生 AML201,GML200 解析について日血で発表。
- 柳田先生 AML の移植決断分析について日血発表、論文化。
- 早川先生 ALL202-U について小児血液学会で発表。

上記が承認された。